

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 12 日 (2006.1.12)

【公表番号】特表 2005-524391(P2005-524391A)

【公表日】平成 17 年 8 月 18 日 (2005.8.18)

【年通号数】公開・登録公報 2005-032

【出願番号】特願 2003-554732(P2003-554732)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 Q 1/68 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 11 月 15 日 (2005.11.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

免疫グロブリン可変領域 (I G V D) をコードするポリヌクレオチド配列をクローニングする方法であって、

(a) m R N A を含むサンプルを提供する工程、

(b) ユニバーサルプライマーを用いて第一鎖 c D N A 合成を実施する工程、

(c) アンチセンス鎖上の各 I G V D 配列の 3 ' 末端に、またはその近傍にある部位とハイブリダイゼーションできる第一プライマーを用い第二鎖 D N A 合成を実施し、2 本鎖 D N A を産生する工程、

(d) 制限部位に向けられた制限酵素での切断が機能的 I G V D 断片をコードする 2 本鎖 D N A を産生する様に配置された制限部位に特異的な制限酵素で 2 本鎖 D N A を切断する工程、および

(e) 得られた可変領域断片配列をベクター内にクローニングする工程、

を含む方法。

【請求項 2】

工程 (c) で産生した 2 本鎖 D N A を、第一プライマーとユニバーサルプライマーとを用いて引き続き増幅する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

工程 (c) が第一プライマーおよびユニバーサルプライマーの使用、ならびに工程 (b) の産物を鋳型として使用することを含む増幅工程である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

ユニバーサルプライマーがオリゴ - d T の配列を含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5】

ユニバーサルプライマーが一群のランダムプライマーの配列を含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 6】

第一プライマーが制限酵素部位を少なくとも 1 つコードしている、請求項 1 ~ 5 のい

れか 1 項に記載の方法。

【請求項 7】

サンプルがリンパ細胞由来の mRNA を含む、請求項 1 および 6 に記載の方法。

【請求項 8】

工程 (d) の制限部位が B s t E I I である、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 9】

mRNA がヒト由来である、請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 10】

mRNA がラクダ由来である、請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 11】

ベクターが I G V D ポリヌクレオチド配列の少なくとも一部を発現できる発現ベクターである、請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 12】

I G V D ポリヌクレオチド配列が重鎖可変領域ポリヌクレオチド配列である、請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 13】

I G V D ポリヌクレオチド配列が軽鎖可変領域ポリヌクレオチド配列である、請求項 1 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 14】

I G V D ポリヌクレオチド配列が重鎖可変領域ポリヌクレオチド配列および軽鎖可変領域ポリペプチドである、請求項 1 ~ 13 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 15】

請求項 1 ~ 14 のいずれか 1 項に記載の方法により得ることができる、I G V D ポリヌクレオチド配列のレパートリーを含む発現ライブラリー。

【請求項 16】

請求項 1 ~ 14 のいずれか 1 項に記載の方法により得た、I G V D ポリヌクレオチド配列のレパートリーを含む発現ライブラリー。

【請求項 17】

請求項 1 ~ 14 のいずれか 1 項の方法により得ることができる I G V D ポリヌクレオチド。

【請求項 18】

請求項 1 ~ 14 のいずれか 1 項の方法により得た I G V D ポリヌクレオチド。

【請求項 19】

請求項 15 および 16 に記載の発現ライブラリー、または請求項 17 および 18 に記載の I G V D ポリヌクレオチドの使用に基づく診断アッセイ。

【請求項 20】

請求項 19 に記載の診断アッセイより得た診断報告。

【請求項 21】

請求項 1 ~ 14 のいずれか 1 項の方法によりクローン化した配列の一つを発現後に得たポリペプチドの医薬品製造のための使用。